

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。
この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。
なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認下さい。

2025 年度ガラス表面・ 分析研究討論会 —最先端分析技術の活用—

主 催 日本セラミックス協会ガラス部会表面・分析分科会

協 賛 日本化学会

会 期 2月6日(金)13時~17時30分

開催方式 対面式

会 場 日本セラミックス協会会議室(新宿区百人町2-22-17) [交通] JR山手線「新大久保」駅より徒歩約7分

参加申込締切 2月2日(月)

ガラス・セラミックス材料の機能発現には、構成元素の配置や化学状態などが深く関与しています。近年、電子顕微鏡や分光法などの分析装置の高性能化に加え、AIを活用した構造予測や計算科学的手法の進展により、多様な評価技術が構築され、研究開発に活用が進められています。材料の構造や化学状態を理解し、機能設計や新規材料探索に結びつけるためには、各種手法の適切な使い分けや組み合わせにより、得られる情報を精密に解析することが重要です。今回は、本分野において第一線でご活躍中の講師の方々に講演いただきます。講演後には、ポスター展示の形式で各講演者と自由に議論できる場を設けており、解析技術の新展開や材料研究の最前線を共有し、活発な意見交換を行う貴重な機会となります。

1. 材料・デバイスの研究開発に貢献する先進的電子顕微鏡技術(ファインセラミックス)
平山 司

2. 空間群のAI予測によってもたらされる新しい結晶構造解析方法論にむけて(産総研)
尾崎弘幸

3. ソーダライムガラス中のFe²⁺イオンの構造解析(AGC) 土屋博之

4. 5次元走査型透過電子顕微鏡法によるガラスの構造・運動解析(物質・材料研究機構)
中澤克昭

5. ショートポスターセッション(講演者との議論の場)

※詳細はHP ([https://www.ceramic.or.jp/bglass/index_j.html#2025characterization](http://www.ceramic.or.jp/bglass/index_j.html#2025characterization)) をご確認下さい。

参加費 日本セラミックス協会: 正会員6,000円、学生会員2,000円、日本化学会: 正会員6,000円、学生会員2,000円、非会員: 一般8,000円、学生3,000円

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 日本電気硝子株式会社 姫井裕助 E-mail: yhimel@neg.co.jp

東京大学物性研究所 MP-CoMS 高度人材育成事業 オンライン講義 「第一原理電子状態計算の 基礎と応用」

主 催 東京大学物性研究所「計算物質科学高度人材育成・産学マッチングプログラム」

後 援 日本化学会

会 期 2月10日(火)、18日(水)、25(水)、3月4日(水)14時~17時15分

開催方式 オンライン

参加申込締切 2月4日(水)※締切以降はご相談下さい。

東京大学物性研究所「計算物質科学高度人材育成・産学マッチングプログラム」(略称: MP-CoMS)では企業および、大学・国立研究機関に所属する研究者や学生を対象に、大学教員等による計算科学分野の講義を実施いたします。2025年度は密度汎関数理論に基づく第一原理計算の基礎と実践に関してオンライン講義を行います。第一原理電子状態計算に関心があり、これから計算を行ってみたいと思われている学生や研究者、基本原理や計算手法自体に興味があり、より深く学んでみたい方などが対象者となります。各受講者のレベルに応じて、第一原理電子状態計算を一步高いレベルで体得できる良い機会です。

参加費 日本化学会会員非営利企業にご所属の方無料、営利企業にご所属の方90,000円/1名(消費税別途)

参加申込方法 Web

申込先 東京大学物性研究所「計算物質科学高度人材育成・産学マッチングプログラム」
<https://mp-coms.issp.u-tokyo.ac.jp/lecture/6419>

問合先 277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学物性研究所MP-CoMS事務局 電話(04)7136-3279 E-mail: adm-ccms@issp.u-tokyo.ac.jp <https://mp-coms.issp.u-tokyo.ac.jp/contact>

第二回革新的GX技術創出事業 (GteX) 公開シンポジウム

主 催 科学技術振興機構未来創造研究開発推進部 GteX推進グループ

後 援 日本化学会

会 期 2月13日(金)12時~19時

開催方式 対面式

会 場 NSスカイカンファレンスホール(新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル) [交通] JR「新宿」駅より徒歩7分

参加申込締切 2月10日(火)12時

革新的GX技術創出事業(GteX)は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて「蓄電池」、「水素」、「バイオものづくり」の3つの研究領域において、2023年度より研究開発を推進しています。今回は、GteXでの研究開発成果を紹介するとともに、カーボンニュートラルの実現への貢献を目指し、今後どのような研究が期待されているか、得られた成果をどのように実用化に繋げていくのか、そのためにはどのようなアクションが必要か、産業界からの視点も交えながら議論します。

1. 開会挨拶

2. プログラムディレクター挨拶, GteX全体紹介(GteXプログラムディレクター) 魚崎浩平

3-1. 蓄電池領域における研究開発と成果について(蓄電池領域プログラムオフィサー) 桑畠 進

3-2. 水素領域の研究開発と成果について(水素領域プログラムオフィサー) 内田裕之

3-3. バイオものづくり領域の研究開発と成果について(バイオものづくり領域プログラムオフィサー) 近藤昭彦

4. パネルディスカッション: GteXの成果をどのように社会実装へつなげるか(仮題)

モデレーター: 杉山正和(東京大学)

パネリスト: 有識者複数名を予定

5. ポスターセッション

GteX各研究チームより研究成果発表

6. 閉会挨拶

※詳細は事業Webサイト (<https://www.jst.go.jp/gtex/>) をご参照下さい。

参加費 無料

懇親会 2月13日(金)17時30分~19時、シンポジウム会場内にて実施。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 102-0076 千代田区五番町7 K's五番町 国立研究開発法人科学技術振興機構未来創造研究開発推進部 GteX推進グループ 電話(03)3512-3543 E-mail: gtx@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/gtex/event/gtex_vol2/

25-2 グリーンケミストリー研究会

主 催 高分子学会グリーンケミストリー研究会

協 賛 日本化学会

会 期 3月5日(木)13時~17時

開催方式 対面式

会 場 産総研臨海副都心センター別館11F会議室(江東区青海2-3-26) [交通] 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車徒歩3分、りんかい線「東京テレポート」駅下車徒歩15分

参加申込締切 2月26日(木)12時

参加費 企業3,300円、大学・官公庁2,200円、学生1,100円

懇親会 中華料理唐苑にて。会費6,000円(税込)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル 公益社団法人高分子学会グリーンケミストリー研究会係 電話(03)5540-3771 <https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=798>

プラズマ分光分析研究会

第127回講演会

—プラズマ分光分析が支える基礎研究と
“ものづくり”における分析の重要性—

主 催 プラズマ分光分析研究会

協 賛 日本化学会

会 期 3月5日(木)10時~6日(金)12時

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 山形テルサ(山形市双葉町1-2-3)

[交通] JR「山形」駅より徒歩10分

参加申込締切 2月24日(火)

3月5日(木)

1. 元素分析とICP-MS(仮)(アジレント・テクノロジー) 永田洋一

2. [2025年度奨励賞受賞講演1] 生体内微量元素動態解析法の開発と再生医療実現を目指したメタロミクス研究への応用(味の素) 荒川哲大

3. [2025年度奨励賞受賞講演2] 誘導結合プラズマ質量分析における気相反応と自動化技術

術による放射性同位体の迅速分析（日本原子力研究開発機構）松枝 誠

4. LA-ICP-MS による固体試料分析と地質年代測定：分析法の実務と地球科学への応用（秋田大院理工）福山蘭子

5. 放射性ヨウ素（129/I/127I）を指標とした地下水年代測定は可能か？（長岡技術科学大学）太田朋子

6. ポスター発表

7. 難溶解性試料における前処理手法の検討およびICP-MSを用いた無機分析例（東北大工）中野陽子

3月6日(金)

8. 技能試験による精度管理～ISO/IEC 17043～(仮)（産総研計量標準総合セ）津越敬寿

9. 固液界面の分子制御による化学センサデバイスの開発（産総研健康医工学研究部門）南木 創

参加費 会員2,000円、非会員5,000円、学生会員1,000円、学生非会員2,000円、要旨集のみの購入1冊2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 192-0392 八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部分子生命科学部生命分析化学研究室 プラズマ分光分析研究会 事務局 電話(042)816-3001 FAX(045)924-5688 E-mail: ozeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma26030506.peatix.com>

第22回キンカ高分子化学研修コース

主催 近畿化学協会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 3月12日(木)9時30分～18時40分

開催方式 対面式

会場 大阪科学技術センター7F 701号室（大阪市西区鞠本町1-8-4）[交通] Osaka Metro（地下鉄）四つ橋線「本町」駅25番、28番出口を北へ徒歩約5分うつぼ公園北詰

参加申込締切 定員（40名）になり次第

1. 高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術（京工織大院工芸）中 建介
2. 高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合（住重機械プロセス機器）竹中克英
3. 高分子の構造と物性～高分子らしさの起源（放送大・阪大名誉）佐藤尚弘
4. プラスチック成形品の不具合～原因究明と対策（阪大公）樋口裕思
5. 研究開発と事業化～企業におけるDXの位置付けと活用事例（大阪ガスケミカル）長嶋太一

参加費 主催・協賛団体会員30,000円、一般40,000円（消費税、テキスト代含む）

交流会 17時40分～18時40分

参加申込方法 Web

申込先・問合先 550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 一般社団法人近畿化学協会 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685

E-mail: seminar@kinka.or.jp <https://kinka.or.jp>

or.jp/event/2026/kobunshi22.html

レアメタル研究会(第120回)

—鉄と非鉄とレアメタル—

主催 レアメタル研究会

協賛 日本化学会

会期 3月13日(金)14時～

開催方式 オンライン・対面併催

会場 リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会(目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所 An棟2F コンベンションホール) [交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅、小田急線「東北沢」駅・「代々木上原」駅より徒歩10分

参加申込締切 3月6日(金)

講演(敬称略)

※プログラムの順番等は変更する可能性があります。

1. 鉄は国家なり(仮)(東大工)森田一樹

2. 非鉄金属は文化なり(仮)(早大理工)所千晴

3. レアメタルはアートなり(仮)(東大生産技術研)岡部徹

4. 総合討論(予定)

参加費 大学・省庁・メディアの関係者は無料、企業関係者は初回のみ無料

研究交流会・意見交換会 18時より、An棟2階 ホワイエにて開催予定。+森田教授ご退職お祝いの会

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場4-6-1 Fw-301 岡部徹研究室 宮寄 電話(03)5452-6314 FAX(03)5452-6313 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp

第417回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—高親水性・高極性化合物のHPLC分析—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 日本化学会

会期 3月16日(月)

開催方式 対面式

会場 株式会社島津製作所 東京支社イベントホール(千代田区神田錦町1-3) [交通] 都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅B7出口より徒歩6分

参加申込締切 3月6日(金) [入金締切時刻: 15時まで]

高親水性・高極性化合物の分離には一般的にHILICやイオン交換等が多く利用されていますが、近年は逆相分配やミックスモード充填剤を用いた分離例も多く報告されています。そこで、本例会では高親水性・高極性化合物のHPLC分析について、充填剤とアプリケーションの最新情報についてご講演いただきます。

講演

1. 講演主題概説: オーガナイザー (LCシニ

アクラブ) 熊谷浩樹

2. 逆相・ミックスモードを用いた高極性化合物の保持と分離条件(ジエルサイエンス) 太田茂徳

3. 逆相とHILICのあいだ: 極性化合物分離のためのカラム選択(クロマニックテクノジーズ) 小山隆次

4. イオン交換クロマトグラフィーによるアミノ酸分析の基礎(日立ハイテクアナリシス) 宮野桃子

5. 食品分野における有機酸のHPLC分析(日本食品分析セ) 横関俊昭

6. LC-MSによる親水性代謝物分析アプリケーションの紹介(島津製作所) 服部考成

7. 総括: 高親水性・高極性化合物のHPLC分析(東理大) 中村洋

参加費 学生1,000円、後援学会・個人会員4,000円、後援学会・団体会員4,500円、その他5,000円

懇親会 講演終了後、講師を交えて情親交換会を開催します。会費5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: 3031tvux@jcom.zaq.ne.jp <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0417.html>

上村大輔先生記念会 2026

主催 上村大輔先生記念会世話人会

後援 日本化学会

会期 4月18日(土)13時～18時

開催方式 対面式

会場 日本大学文理学部(世田谷区桜上水3-25-40) [交通] 京王線「下高井戸」駅または「桜上水」駅徒歩10分

参加申込締切 4月9日(木) [当日申込可]

天然物化学の発展、また静岡大学、相模中研、名古屋大学、慶應義塾大学、神奈川大学の上村研究室において、多方面で活躍する人材の育成にご尽力された名古屋大学名誉教授・神奈川大学特別招聘教授 上村大輔先生が2021年4月13日にご逝去されてから5年になります。この節目にあたり、門下生と天然物化学分野で活躍されている著名な先生による学術講演会を開催いたします。

招待講演 佐藤隆章(慶應理工)、末永聖武(慶應理工)、西川俊夫(名大院生命農)、廣瀬友靖(北里大大村智記念研)

特別講演 鈴木啓介(東工大栄誉・北里大栄誉)

参加費 無料

懇親会 一般4,000円、学生1,000円(予定額)

参加申込方法 Web 下記HPより

申込先 上村大輔先生記念会 2026 世話人早川一郎

問合先 156-8550 世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部化学科 早川一郎 E-mail: uemura.memorial2026@gmail.com <https://hayakawa-lab.com/uemuramemorial2026/01.html>